



学校だより

令和2年1月31日
No.11 2月号
横浜市立篠原西小学校

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shinoharanishi/>

身の回りから

校長 荒井 健

4月から実施される「新学習指導要領」の前文に次のような言葉があります。

これからの学校には、こうした教育の目的及び目標の達成を目指しつつ、一人一人の児童が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。

前号で書かせていただいた「多様性の大切さ」ということがここでも謳われています。

また、「総合的な学習の時間」の章には、目標の(2)として、次の記述があります。

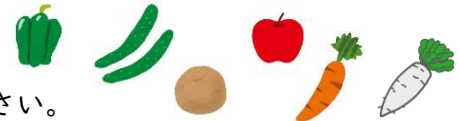
実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

1月14日(火)の放送朝会(テレビ)で、次のような実験を通したお話をしました。

水を入れた水槽と、「ピーマン」、「キュウリ」、「ジャガイモ」、「リンゴ」、「ニンジン」、「ダイコン」、「タマネギ」があります。

それぞれ、水に浮くと思いますか?沈むと思いますか?

これから実際に試してみますので、予想しながら見てください。



- ①まずピーマンです。 →△浮きました!
- ②次にキュウリです。 →△浮きました!
- ③次はジャガイモです。 →▼沈みました!
- ④次はニンジンです。 →▼沈みました!
- ⑤次はリンゴです。 →△浮きました!
- ⑥次はダイコンです。 →▼沈みました!

野菜や果物の【△浮く】【▼沈む】には、どうやら、きまりがあるようです。
地上にできる作物は【△浮く】、地中にできる作物は【▼沈む】ようです。



では、タマネギはどうでしょうか?

タマネギは……………△浮きました!

みなさん、予想は当たりましたか?

では、タマネギは、畑でどのようにできるのでしょうか?

地上? 地中? 興味がある人は、調べてみてください。



朝会の話は、ここまでです。

作物の進化と淘汰の過程でこのような原則が生まれたようですが、例外もあるようです。

(後日、ミニトマトをボールで洗っていたら……………沈みました……………)

身の回りにも、(台所にも!!)たくさんの問いを見いだすことができます。

食材としての野菜や果物一つをとってみても、学習材としての価値は多岐にわたります。

・栽培方法 ・原産地や歴史 ・栄養 ・調理方法 ・生産に関わる人々 ・流通の仕方 等々



これからも、興味関心が高まるような授業を通して、子どもたちの探究心をさらに伸ばしていくよう学校全体で取り組んでまいります。ご理解、ご協力をよろしく願いたします。